



# OTAシティ・マネジメントレポート

## 令和5年度 大田区年次財務報告書

～大田区財政のアンニュアルレポート～

(令和5年度決算版)

令和6年12月

大田区



## OTA シティ・マネジメントレポートの作成にあたって

---

区は、区民生活に最も身近な基礎自治体として、急激な物価高騰等に直面する区民生活・区内経済を支える取組をはじめ、少子高齢化や世帯構成の変化などに伴う生活課題への対応、激甚化する自然災害への備えなど、区が直面する「今」なすべき行政課題に着実に対応しております。また、基本構想で掲げた将来像の実現に向け、2040年頃から本格的な人口減少時代を迎えても、成熟した大都市として持続的な成長・発展を遂げられるよう、区民の暮らしの質やまちの価値を高める「未来志向の戦略的な投資」を力強く推進しております。

刻々と変化する区民の生活や価値観を踏まえつつ、区民生活・区内経済を支える必要性が高い施策は他に先駆けた新たな視点のもとでバージョンアップを図り、さらにスピード感をもって実施する必要があります。選ばれる都市として、力強い区政の歩みを進めていかなければなりません。

こうした施策を支える区財政は、基金の適切な積立や特別区債の発行抑制と着実な償還の成果がみえ、現状において健全な状況にあります。一方、物価上昇などによる景気の下振れリスクや区の財源を一方的に奪う国による不合理な税制改正の影響など、区の財政環境の先行きを見通すことは困難な状況にあります。

このような区財政を取り巻く状況においても、基本的な行政サービスを将来にわたり安定的・継続的に提供し、自然災害や感染症など臨時的・突発的な財政需要、景気の影響など急激な減収にも機動的に対応し、公共施設・都市インフラの強靱化や重要な成長戦略となる社会資本の整備といった未来への投資を着実に推進できる、強靱な財政基盤を堅持する必要があります。

このレポートは、令和5年度決算をもとに、総務省の定める統一的な基準による財務書類等を作成したものです。現行の決算を補完し財政の透明性を高めるとともに、行政コストの把握や分析などに活用し、区を「経営」する視点のもと、区民の皆さまに信頼され安心できる、持続可能な自治体経営の実践に取り組んでまいります。

令和6年12月 大田区長

鈴木晶雅

大田区財政のアンニュアルレポートとは、区民の皆さまに区の経営状況や活動状況を報告するために作成した「年次財務報告書」をいいます。

- 普通会計とは、決算統計（地方自治法第 252 条の 17 の 5 第 2 項に基づいて毎年度実施されている「地方財政状況調査」による全国の地方公共団体の決算に係る統計調査）により、総務省の定めた全国の統一基準による標準的な会計として、すべての地方自治体の財政状況を比較分析できるよう再構成した統計上、観念上の会計です。

大田区では、一般会計から介護関連や区営アロマ駐車場などの収入・支出を差し引いたものとなります。

- 説明や図表中の数字は、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の合計が合計欄の金額や比率と一致しない場合があります。

## - 目次 -

<b>I 区がめざす将来像をお示しします</b>	<b>1</b>
1 これまでの大田区基本構想・新おおた重点プログラム	1
2 新たな基本構想の策定と実現に向けて	3
<b>II 決算から区財政の状況をお示しします</b>	<b>4</b>
II-1 普通会計決算等による区財政の状況（令和5年度決算）	5
1 普通会計決算でみる区財政の状況	5
2 財政指標でみる区財政の状況	14
3 健全化判断比率でみる区財政の状況	19
II-2 財務書類による区財政の状況（令和5年度決算）	22
1 財務書類作成の趣旨・役割等	22
2 一般会計等財務書類	29
3 連結財務書類	53
<b>III 持続可能な自治体経営に向けて～今後の財政運営の方向性～</b>	<b>59</b>
1 区財政を取り巻く現状	59
2 今後の見通し	69
3 今後の財政運営の方向性	71
<b>(参考資料)</b>	
(1) 新おおた重点プログラム 個別施策ごとの決算額	75
(2) 普通会計決算	79
□ 決算状況一覧表	79
□ 財政の状況（普通会計）	81
□ 累年表（普通会計）	82
(3) 財務書類	84
□ 一般会計等財務書類	84
□ 全体財務書類、連結財務書類	92